

瀬戸川だより

～瀬戸川で生きる。そして生きつづけたい。～



発行元
土佐町役場 企画推進課
☎0887-82-2450
○瀬戸コミュニティセンター
☎0887-72-9114
○南川会館
☎0887-72-9611

2021年号(第22号・夏号)



南川茶



ここ南川にも茶加工場があり、平成の半ば頃が茶業の全盛期でした。各集落が茶園を営み「お茶摘みさん」を雇う家もありました。今では各自が自宅で玉茶にしたり、JAを通じて徳島で加工して自分達の飲み量を生産しています。

もう何年も手入れされることもなく数メートルの高さに成長し、硬い葉っぱが生い茂り、まるで林と化した茶園になっています。中々、元の状態に戻すことはままなりません。そのため、今営まれている茶園は宝ですね。

今年も、遅霜と長雨の合間をぬって茶摘みが行われました。凄く緑鮮やかなお茶が出来上がっています。



もみじの森の下草刈り

6月7日にアメガエリの滝周辺に植樹してある「もみじ」周辺の下草刈りを行いました。一昨年の7月に、「ここをもみじの森に」との熱い思いから「瀬戸川ロマン」のボランティア活動で植えたものです。だいぶ雑草が生えていて大変でしたが、一緒に周辺の遊歩道と駐車場周辺も草刈りをして大変きれいになり、地元はもとより訪れた観光客も喜んでいました。「もみじ」の成長を楽しみに年2回の下草刈りをする予定です。よろしくお願いします。

【瀬戸川ロマン事務局】☎0887-72-9611



今年も静寂の中で

年に一度の南川の信仰行事である南川百万遍祭を、今年こそはと楽しみにされていた方も多くいらっしゃると思います。昨年は、南川百万遍祭の歴史の中で初の中止という経験を致しました。

今年もまだまだコロナ過であるため、舞堂：大谷寺及び境内の清掃はいつも通りに行い、後に寺近辺の方々や子集落の代表が集まり、地区長の号令で住職の読経に耳を傾け、静寂の中で無病息災を祈ります。

来年こそは、感染症が終息し、皆様と一丸となって百万遍祭が開催できることを願っています。



合同訪問活動

4月から瀬戸地区担当の岡林支援員と、南川地区担当の小林支援員が合同でひと月ごとに瀬戸、南川の家を訪問しています。地域のみなさんの声をより多く聞かせて欲しいのと、女性同士や男性だから解決出来る話もあるかと思い取り組みを始めました。まだ、お会い出来てない方もいらっしゃいます。今後みなさんの声を伺わせてくださいね。

瀬戸川溪谷に癒しのスポットがまた一つ！



「ふるさとの森を育む会」によるシャクナゲの植樹作業についてお伝えします。

谷種子さん（第5号で紹介、現顧問）が、「シャクナゲ（ツツジ科・4月～6月開花）」の苗木の提供を受けて、稲村ダム周辺の原石山と、アメガエリの滝遊歩道の2か所に計122本（原石山54本、遊歩道68本）を植樹しました。苗木を剪定して小分けにし、用土を運び植えていきます。

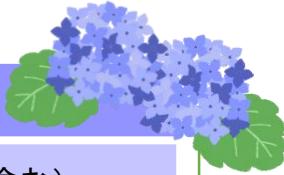
5月22日、29日、30日の3日間で会員有志と地区長（仁井田亮一郎さん）にも参加して頂き無事に終了。「樹が育ち花が咲くまでが楽しみ」と皆さん話していました。【新たな癒しのスポットがまた一つ…】

シャクナゲの苗を提供してくださった方は、谷さんの後輩にあたる、植田美津子さん（芥川地区）です。本山町にあった帰全農場では先輩、後輩の間柄で今回の話になり、植田さんも喜んでいました。苗木の剪定などもご指導頂きました。

例年通りだと春と秋に行う交流行事（香川県と高知市の利水地域の人々を招いて行う草刈・植樹事業）がコロナ禍で中止となり、活動が制限されるなかですが、他地域との橋渡しとして活躍して頂きたいです。



2021年7月現在の人口など



地区	人口等
南川	人口 26人(入院中の方を含む)
	世帯数 14世帯
下瀬戸	人口 10人(入院中の方を含む)
	世帯数 7世帯
黒丸	人口 28人(入院中の方を含む)
	世帯数 16世帯

「瀬戸川だより」に対する感想・お問合せはこちらへ！！

【南川】〒781-3742土佐町南川1224-2
南川会館 小林聖花宛て
email: minagawa@utopia.ocn.ne.jp
【瀬戸】〒781-3337土佐町瀬戸658
瀬戸コミュニティセンター 岡林孝通宛て
email: okabayashi@herb.ocn.ne.jp



※ここでは実際に瀬戸川地区に暮らしている方々の人数等を載せています。

南川地区集落支援員
小林聖花

本に地かイ活なま ま分水い予を数様で己をに
当し域日プをどせ水す配がま備越十々今管引谷南
にてに々内脅にんは。さ貯す夕えメで日理い筋川
あ頂水点にか姿が生れ水。ンる1、にをてがは
りのの検砂しを、活て槽そク高ト集至負いあ、
がて供をやま変時す初をこにいル落りうまり昔
とお給しゴすえにるめ通か一場かかま事す、か
うりがてミ。てはうてりら時所ららすが。個ら
ごまで、なそ私水え蛇、瀧的の百直。暗そ々各
ざすきよどのた害で口各過に湧メ線水黙の為自落
い。るりが為ちやかから庭れめ水ト離地了、らご
まよ良な、の凍かから庭れめ水ト離地了、らご
すうくいパ生結せでにたてをルでは解自水と

にて 過
ついで今ごこ
いる回はしん
て水はでにち
少道、しよは
し、日よ。皆
おす頃う。様
話な何か？い
しわ気？かか
まちなくが
す。水使っ
っ

集落支援員のつぶやき
（ひとつづの水滴）